

MICRO 3X TACTICAL MAGNIFIER

マイクロ3Xタクティカルマグニファイヤー 取扱説明書



MICRO 3X TACTICAL MAGNIFIER仕様

| | |
|--------|-------------|
| 倍率 | :3倍(固定) |
| レンズ径 | :21mm |
| 全長 | :79mm(本体のみ) |
| 重量 | :330g |
| アイリリーフ | :67mm |



付属品

- ① 本体(マウント付属)
- ② マイナスネジ(短)
※ローマウント用
- ③ 専用ドライバー
- ④ クリーニングクロス

MICRO 3X TACTICAL MAGNIFIERの特徴

- **ワンプッシュでロック解除** プッシュボタンでロックを解除。使用時、スイングアウト時の両方でしっかりロックされます。
- **高さを調節可能** 厚さ3mmのライザープレートを脱着することで、マウントレール上面からレンズ中心までの高さを40mm/37mmの2通りから選択できます。
- **ドットやレティクルイメージの表示位置を調整可能** 調節ダイヤルによりイメージの表示位置を調節できます。
- **長めのアイリリーフ** 67mmと従来より長めのアイリリーフを確保。ゴーグル着用時の使用感が良好になりました。
- **視界を邪魔しない小型のダイヤル類** 薄型のダイヤル・スイッチ類を採用、照準時の広い視界を確保しました。
- **コンパクトなボディ設計** 限られたスペースでも取り付け可能。併用するドットサイトの選択肢も多くなりました。

MICRO 3X TACTICAL MAGNIFIERの取り付け



厳重注意

マグニファイヤーを装着する前に、常にエアガンに弾が入っていないこと、撃てる状態になっていないこと、安全装置がかかっていることを確認してください。これは装着のつど必ず実行してください。

● QDマウントの調節方法

付属のマウントは、レバー操作で簡単に着脱できるQDマウントになっています。レールの幅に合わせて、レバーを閉じた状態の締め付け具合が微調整できます。



QDレバーにあるロックボタンをスライドさせることでQDレバーのロックを解除します。



レバーを写真の向きに倒してマウントをオープンポジションにします。



マグニファイヤーをレールに取り付けてください。レールとの間に隙間が開かないように注意。



QDレバーをクローズポジションにしてください。ロックボタンが作動して過度な抵抗感を感じればOK。



QDレバーを倒してロックしてもゆるい場合、あるいはキツすぎてロックできない場合はアジャストダイヤルで調整します。



調整方法です。マグニファイヤーをレールから外し、QDレバーをオープンポジションにしてから、レバーを矢印の方向に押しこんでください。



するとアジャストダイヤルのロックが外れて回せるようになります。時計方向できつく、反時計方向でゆるくなります。

● スイングアウト

MICRO 3X TACTICAL MAGNIFIERは、ワンタッチでサイドにスイングアウトできます。



ロックボタンを奥(銃口方向)から手前(射手方向)に押し、マウントのロックを解除します。



サイドにスイングアウトできます。戻す時もロックボタンを押してロックを解除してください。

● ライザープレートの脱着

プレートを脱着することにより、高さの違うドットサイトに対応します。プレートを装着した状態ではレール上面からレンズ中心まで40mm、外した状態では37mmです。



スイングアウトした状態で、下面にある2本のマイナスネジを外すことでライザープレートを外せます。ライザープレート無しで使うときは、付属する短いネジに交換してください。※ネジの着脱には付属する専用ドライバーをご利用ください。

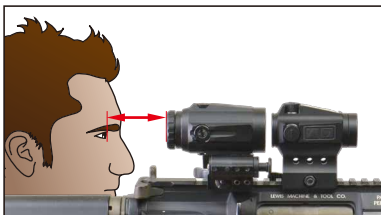


ノーベルアームズ製ドットサイト、T1/T2 Solarには、ライザープレートを装着した状態(高さ40mm)でちょうどレンズの中心が揃うように設計されています。

見え方の調整

●アイリリーフの調整

照準器は目と接眼レンズの間に、ある程度の距離を置いた状態で使用します。その距離をアイリリーフと呼びます。近すぎても遠すぎても、正しい照準ができなくなります。構えた時に適切なアイリリーフが取れるように取り付けてください。



射手の目から接眼レンズまでの距離がアイリリーフです。



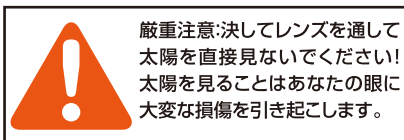
アイリリーフが短すぎたり長すぎたりすると視界が狭くなり適切な照準ができません。マグニファイヤーの枠全体に視界が広がる適切なアイリリーフになるように取り付け位置を調整してください。

●焦点合わせ・ディオプター調整

視力は各個人で異なりますので、接眼部のディオプターを使って調整する必要があります。ディオプターの調節により、ドットとターゲットが光学的に同じ距離に投影されるようになります。



レンズを通して、壁や空などの平面で明るいところを見た状態でドットがクッキリと見えるように、レンズにある調整リングを回して調節してください。



嚴重注意!決してレンズを通して太陽を直接見ないでください!太陽を見ることはあなたの眼に大変な損傷を引き起こします。

●上下左右・投影位置調整

MICRO 3X TACTICAL MAGNIFIERには、バーティカル(上下)&ホリゾンタル(左右)アジャストダイヤルが備えられています。これは着弾位置を調節するものではなく、映像の投影位置を調節するものです。着弾位置の調整は、ドットサイトのエレベーション/ワインディング調節機能を使用してください。MICRO 3X TACTICAL MAGNIFIERは、着弾位置の調節機能は備えていません。



マグニファイヤーをサイドにスイングアウトして、ドットサイトだけでターゲットを狙うとこのように見えます。

マグニファイヤーを通常がジョンに戻して、ターゲットを拡大して狙うと、このようにターゲットが拡大されます。

銃を固定したまま上下調節ダイヤルを「UP」の方向に戻すと、着弾位置は変わらず、レンズを通して見える像が上に移動します。

同様に銃を固定したまま左右調節ダイヤルを「R」の方向に戻すと、やはり着弾位置は変わらず像だけが右方向に移動します。

トラブルシューティング ～困ったときは～

●映像が正円に見えない、ケラれる、円がかけたように見える

アイリリーフが近すぎる、または遠すぎる
……適切なアイリリーフになるように取り付け位置を調整してください。

マグニファイヤーを斜めから覗いている
……まっすぐ後ろから覗けるように適切な射撃姿勢を取ってください。

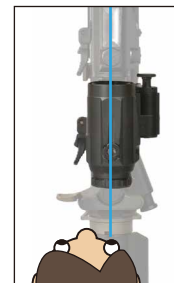
アジャストダイヤルの動かしすぎ
……本製品は工場出荷の際にはほぼ正円に見えるように内筒が調整されております。アジャストダイヤルを必要以上に動かすと正しい射撃姿勢でも正円に見えなくなります。



適切でない射撃姿勢



射撃姿勢を取ったときに、目の位置が照準器中心の真後ろに位置していないと、照準器を通して見える像は一部または全部が欠けた状態になります。
※アジャストダイヤルの動かしすぎても同様の状況になることがあります。



適切な射撃姿勢



目の位置が照準器中心の真後ろになるように構えると、枠全体に視界が広がり適切な照準ができるようになります。この形になるように射撃姿勢を調整してください。